

2016/17 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区B

市原ロータリークラブ会報



第 2567 回例会 2016 年 10 月 19 (水) SAA (司会) / 津留会員 会報担当 / 篠田会員

事務局 市原市五井中央西 1-22-25 市原商工会議所 2F 例会場 ニュー南総ゴルフ倶楽部

- 点 鐘 市原 RC 会長 西村芳雄
- ソング それでこそロータリー
- お客様 RID2790 米山記念奨学委員会
2016-17 委員 山内みどり様
米山奨学生 デッドジェンス マルテさん
- 会長挨拶 市原 RC 会長 西村芳雄



皆さん、こんにちは。

本日のお客様は、米山奨学生のデッドジェンス・マルテさんと地区委員の山内みどりさんです。マルテさん達のご紹介は福原委員長にお願いするとして、ようこそお出でいただきました。有難うございます。後程、体験談などを色々とお聞かせいただけることを楽しみにしております。ところで、昨年度の当クラブでは、李 俊傑さんをお世話しました。彼は真摯に学業に励み、卒業し、就職し、そしてまた、結婚をし、今ではきっと幸せな日々を送られていることと思います。また、中国との良き架け橋となられることと思います。マルテさんも、将来そのようになられることを期待しております。ここで、ロータリー米山記念奨学会について少し調べてきましたのでお話します。この奨学会は、1952年に東京ロータリークラブが奨学事業の構想を立案したことにより始まりました。当時の日本は、戦後の焼け野原から復興に向けて始動し、1950年からの朝鮮戦争勃発による特需景気で急速に経済力をつけてきた頃です。私は当時7歳でしたので良く覚えておりませんが、この少しあとには、豊かさや憧れの象徴といわれた3種の神器である白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫が急速に普及し始めております。それらは、それほど裕福でもなかった我が家にもあったような記憶があります。そして、1954年には、奨学生第1号となりましたタイ人のソムチャードさんが来日しております。以来、およそ80ヶ国より約2万人の奨学生を受け入れております。そしてその当時の構想については、戦争からの教

訓による世界平和に寄与したいというロータリアン達の強い願いがあり、次の言葉にも良く表れていると思います。

「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか。」と、素晴らしいです。

さて、先の例会時において発表しましたように、クラブ細則改訂案を後ほど採決させていただきます。しかしながら、会員の方より数項目の質問等がありましたし、クラブにとって将来に影響を及ぼす重要な案件ですので、皆さんにそのような事項について平野委員より再度補足して説明させていただきます。そして、そののち採決することになります。宜しくお願いいたします。

ところで、11月2日は、皆さんご承知のように、青木ガバナーの公式



訪問日です。ガバナーをお迎えしての市原中央ロータリークラブとの合同例会になりますので、一人でも多くの会員の出席を再度お願いいたします。そして、クラブ協議会においては、ガバナーの所信を直に聞くチャンスでもありますし、質問する良い機会でもあります。先日の金親ガバナー補佐来会時のクラブ協議会では、活動計画などを6大委員会委員長に発表していただきました。今回の例会進行等につきましては、21日金曜日に担当割や時間割など詳細な打ち合わせを行う予定です。決定後、来週早々にはお知らせできると思いますので宜しくお願いします。

以上、会長挨拶を終わります。

本日のメインプログラム

米山記念奨学小委員会卓話（担当：福原委員長）
長期計画委員会「クラブ活力テスト」集計結果報告

次ページ以降に詳細を掲載



西村会長・岡本幹事

米山奨学生のマルテさん、地区米山委員の山内さん本日はありがとうございました。

■出席報告 前々回確定 67.56% 本日出席 23名

欠席 17名 本日出席率 58.97%

■点 鐘 市原 RC 会長 西村芳雄

2016年10月19日

第2回「クラブ活力テスト」結果報告

長期計画委員長

2016年8月実施「クラブ活力テスト」の集計結果について

会員数 40名 回答数 31名 (回収率 77.5%)
(前回回収率 80%)

分野	2015年	2016年
1.理念・方針の浸透とリーダーシップ	10.7	13.2
2.社会貢献	12.3	13.3
3.魅力あるクラブづくり	9.6	12.5
4.効率的なクラブ運営	9.6	12.5
5.活動の成果	10.5	12
合計点	52.7	⇒ 62.5

<委員の感想>

- ・全ての分野で平均点が上がっている。
- ・会長・幹事中心に雰囲気作りができています。
- ・委員会活動がやりやすい。方向性としては良い方向へ行っているので継続が大事。

平成28年10月19日

米山記念奨学生世話クラブ訪問にあたって

RID2790 米山記念奨学委員会
2016-17 委員 山内みどり

皆様こんにちは。只今ご紹介をいただきました、地区米山記念奨学委員会の委員を仰せつかっております茂原 RC の山内でございます。

市原 RC の皆様には、日頃より米山記念奨学会への活動に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また過去に米山奨学生のお世話をいただき感謝申し上げます。

本日は貴重な例会のお時間に、奨学生の卓話の依頼をいただき感謝申し上げます。

卓話をいただきます奨学生は、ドイツ出身で麗澤大学在学中のデットジェンス マルテさんです。卓話をいただく前に、私から地区のお願いと活動状況を少しお話させていただきます。

今年度、米山記念奨学委員会の活動計画と致しまして、

- 1 米山奨学生はもとより、指導教員並びに大学の奨学金担当者へも、米山記念奨学会の目的と趣旨の周知に努めてまいります。
- 2 米山奨学生と世話クラブ、そして学友会との継続的な関わりの育成に努めてまいります。
- 3 米山奨学生が、将来日本と母国の懸け橋となり、国際親善や国際平和、またロータリーファミリーとして活動、貢献できるよう育成に努めてまいります。

続きまして、今年度これまでの奨学生並びに地区委員会の活動状況を、簡単にご紹介させていただきます。

既に6月4日には、米山奨学生の研修会、7月23日に奨学生とカウンセラーと指導教官合同の研修会を、実施致しました。8月27日には、クラブ米山委員長セミナーを開催いたしました。

奨学生も回を重ねる毎に、お仲間の奨学生やカウンセラーとの信頼や親睦も深まり、奨学生としての自覚を持ちつつあります。

今迄の活動につきましては、9月3日に千葉情報大学に於きまして学友会並びに奨学生によるBBQ大会、また9月25日の地区大会2日目への参加で、ロータリアンとの交流を深めていただきました。そして10月2日～3日には米山記念館の視察に行っていました。訪問により、奨学生には米山梅吉翁のことや米山奨学金の目的や趣旨が理解できたのではないかと思います。

以上雑駁ですが、地区米山委員会の活動状況をご報告させていただきました。

最後になりますが、今後共米山記念奨学会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。有難うございました。それでは卓話をいただきますデットジェンス マルテさんをご紹介いたします。マルテさんはドイツ出身で現在麗澤大学学部3年に在学、経済学科専攻で世話クラブは柏ロータリークラブです。